平成 30 年度第１回長野市景観審議会記録

日時　平成30年４月18日（水）
午後２時～午後３時30分
場所　市役所第二庁舎 10階 会議室202

出席委員　11 名
赤羽委員、稲葉委員、野口委員、羽藤委員、石黒委員、北村委員、篠原委員、土倉委員、池内委員、下﨑委員、森山委員

欠席委員　４名
大上委員、久米委員、山貝委員、野村委員

１ 開　会
定足数の確認

２　挨　拶
会長挨拶

３　諮　問
第 31 回長野市景観賞について

４　審　議
（１）長野市景観計画の改定について
事務局：【資料１－１、１－２により、パブリックコメントの結果について説明（省略）】
議　長：長野市景観計画の改定に対するパブリックコメントへの意見と、対応について、何かご意見はありますか。ご意見がなければ、次に進みます。
事務局：【資料２により、景観計画改定答申案について説明】
今後の予定は、本日、答申案についてご承認いただいたので、４月20日に北村会長から市長に景観計画改定案の答申をいただいた後、庁内会議に諮り、新しい長野市景観計画を決定する予定です。
また、計画の改定に伴い条例等の改正が必要になり、６月議会に提出する予定です。改正条例と改定景観計画の施行は、本年10月１日の予定です。
事前協議は、行為着手の90日前までに市に申し出ることとし、来年２月１日以降に着手予定の行為を協議対象とします。

（２）長野市景観賞について
事務局：【資料３により実施要綱の変更について、第31回長野市景観賞選考要領案について説明（省略）】

委　員：選考対象に屋外広告物等とあるが、これは市民に勘違いをさせる。看板で良いのではないか。

事務局：ご指摘のとおり看板を対象にしているが、条例などで屋外広告物という用語を用いているので、リーフレットでもそれに倣っている。

【資料４により、ながの景観・花と緑フォーラムについて説明（省略）】

議　長：景観賞の応募件数が減ってきていることについて、ご意見ありますか。他の市町村では、隔年開催などを行っている例もあるようだが、景観賞のレベルを保つには、そうしたことも検討する必要がある。

委　員：応募してくる人は、建築関係の業者の方も多いと思う。受賞することで会社のPRにもなるので、建築士会や建設業協会と連携すれば、商売にもつながると考える事業者もいると思う。

事務局：例年、リーフレットを会員に配布していただくよう、ご協力をお願いしている。建築士の方々には、ご自身が関わった建築物が受賞すればPRにもなるので、ぜひご応募いただければと考えている。

議　長：前回の審議会で、かなり多方面にPRをしているが、それでも件数が減ってきているということだった。

委　員：他薦もOKだと認識されていないようだ。関心のある方は多いようなので、他薦も可能であることをもっとPRしてほしい。

委　員：前回の審議会でも、支所職員に協力してもらえないかと発言した。市全域の把握は難しいので、支所と住民自治協議会にはもっと働きかけていいと思う。

委　員：他薦もOKであることは、リーフレットやホームページからも読み取れるが、もっとPRしてもいい。

委　員：住民自治協議会にも発信して、地元の良さを見つける意味でも、大勢の方の視点から推薦してもらえるように、声をかけてもらえばと思う。

委　員：若い学生に声をかけるとの案があったが、大学で講座を持っている委員の方に課題としてカリキュラムに組み込んでいただくことできないか。

委　員：県立大学の学生は、県外出身者が多く、また市内をほとんど歩いたことがない学生が多い。小中学生に声をかけた方が、子どもの視点で出てくるかもしれない。景観教育の切っ掛けにもなる。

議　長：色々と手を尽くしてもらい、募集をしていただきたい。委員のアイデアも、事務局の方で実現できそうなものがないか検討してみてほしい。

次に、景観・花と緑フォーラムについて、自由に意見を出していただければと思います。

委　員：来場者の減少に対応して、会場を生涯学習センターに変更するとのだが、ここは何人くらい入れる場所なのか。

事務局：　100から150人程度が入る部屋、もう一つ200人以上入る部屋がある。

委　員：関わっている団体でも講演会を開くことがあるが、少ししか参加者がいないと、講演する先生に申し訳ないと思う。満員だという印象を受ける会場を選んでほしい。

このような機会が減ると、意識の高揚を図る機会が無くなってしまう。資料

を読むと、参加者が少ないので止めるというニュアンスに読み取れる。一度レベルが下がると元に戻すのに時間が掛かるので、良い講師を呼んで、講演を聴かせる機会を減らしたくないと思う。

委　員：平成30年度は今までと同様に表彰式と講演会を開催する方針のようなので、それで進めてほしい。

平成31年度以降は、表彰式はそれだけで済ませ、講演会や啓発事業は切り離してやった方がいいという提案で、勿体ないという意見があったが、昨年の状況を見ていると、表彰式だけを単独でやることは悪くないと思う。ただ、第一庁舎の市民交流スペースで行い、職員にも短時間でも来てもらえば、表彰の間は人がいるように見え、賑やかな表彰式になると思う。

議　長：次回以降も、今日の意見を参考に、今後の在り方を検討していかれればと思う。

全体をとおして、何かご意見はありますか。

委　員：今回作成した、ながの百景図鑑の写真は、これまでのマップと同じものか。

事務局：一部変更している。マップの画像は、画質の悪いものや、一見してその景観と分からないようなものもあったので、一部新しい写真と差し替えた。今後も、担当が写真を撮るなどして、更新をしていきたい。

委　員：この冊子は良いと思うが、長野駅に置いても仕方ない。東京のアンテナショップなどに置いてもらうと効果があると思う

議　長：以上をもちまして、本日の議事は、これで終了とさせていただきます。

６　その他

７　閉　会

部長挨拶